

(添付資料 1)

最優秀賞・文部科学大臣賞

人の気持ちに寄り添える人に

新潟県立長岡聾学校

1年 三五 美波

いつの頃からでしょうか。私は育児に悩むお母さんが、自分の子どもを傷つけてしまう事件を、ニュースや新聞で目にするようになりました。実は私の好きなドラマ『コウノドリ』にも似たような話がありました。出産後うつ病になったお母さんが、病院の屋上から飛び降り自殺をしようと、幸い医師に止められて命が助かったというお話です。そして、この時母親の話を一生懸命聞いていたのが「助産師」でした。母親の目を見つめ、力強く、そして優しく気持ちを聞こうとする助産師。母親がこの後少しでも楽になるようにと、いろいろな専門機関とつなごうとする助産師。私はこの助産師さんの、熱意と温かさ知識の多さに強く憧れました。私もこんな助産師になりたい、母親のつらい気持ちに寄り添える助産師になりたい、と強く思ったのです。

では、私の希望をかなえるにはどうしたらよいでしょう。まず一つ目は進路です。助産師になるためには看護師資格を取得しなければなりません。ですから、短大や大学で勉強した後、看護師の国家試験に合格し、また助産師養成課程で学んだ後、助産師の国家試験に合格しなければなりません。ですから私は、受験に必要な科目をしっかりと学習する必要があります。しかし、今私が通っている聾学校の高等部には普通科がありません。そこで私は今、普通科のある他県の聾学校に進学したいと考えています。しかし、その聾学校はとてもレベルが高いので、私は今、苦手な理系の勉強にも力を入れて、2年後の受験に向けて積極的に学習に取り組んでいます。

二つ目はコミュニケーション力を身に付けることです。なぜなら、学んだ知識や助言を困っているお母さんたちに受け入れてもらうためには豊かな人間性が必要だと思うからです。助産師がいくら寄り添おうとしても、お母さんに心を開いてもらえなければどんな言葉も情報も届きません。ですからコミュニケーション力は学力以上に大切な私の課題だと思います。他県の聾学校では、全国から集まった生徒と一緒に寄宿舎生活を送ります。私は今でも寄宿舎で生活していますが、幼稚部から一緒だったなじみのある長岡聾学校の環境とはわけが違います。週末に家族に会うこともできません。初めての仲間との3年間の集団生活は、大変だろうけれど、積極的に友達に声を掛けてコミュニケーショ

ン力を高めたいと思っています。そのために、私は今から、伝える力と聞く力を付ける練習をしたいと思っています。今の私のクラスは生徒が3人しかいませんが、その分、一人一人とたくさん話をすることができます。2学期からは、上級生にも自分から積極的に声を掛けていきたいと思っています。先生方とも学校や寄宿舎で毎日たくさん話ができるので、健聴者との会話も楽しみたいと思います。そして、話す時は、相手の表情、顔色、視線などをよく見て、相手が今どんなことを考えているのだろう、どんな気持ちなのだろうと想像してみようと思います。私は電話が苦手なので、対面を大切にしていきたいと思っています。

そして三つ目は、世の中のことを知ることです。なぜ少子化が進むのか、私たちはこの環境の中で子どもを産むのか、産まないのか、産んだらどんなことが待っているのか、さまざまな情報を捉えていきたいです。『コウノドリ』の助産師さんは、自分だけの力では足りない部分を、きちんと他の専門機関とつなげて説明していました。一人の力には限りがあります。情報がなかったせいで、妊娠を諦めたり、命が失われたりしないようにするのも助産師の仕事だと私は思います。

一つの新しい命が生まれるということは、多くの人に力を与えることです。だからこそ、お産には何十人もの方が寄り添いながら関わっているのです。小さく生まれた私が、今ここに生きているのも産婦人科、新生児科、祖父・祖母、叔父・叔母のおかげです。母の職場復帰も弟の誕生も全てたくさんの方々が寄り添ってくれたおかげだと聞いて育ちました。私はたくさんの方の手を借りてここまで育つことができたととても幸せです。お産は他のことと違って産める期間に限りがあります。あの時産んでおけばよかったと後悔する人が一人でも減りますように、冒頭のような悲しい事件を減らせる私になれますように、後悔しないように、今の自分を私は頑張ります。

## 「東北電力 第49回中学生作文コンクール」入賞者一覧

※敬称略、各県ごと氏名五十音順

(No. 1)

賞	学校名	学年	氏名	ふりがな	題名
最優秀賞・ 文部科学大臣賞	【新潟県】新潟県立長岡聾学校	1	三五 美波	さんご みなみ	人の気持ちに寄り添える人に
優秀賞	【青森県】五所川原市立五所川原第一中学校	3	大石 ちえり	おおいし ちえり	未来の私への約束
	【岩手県】一関市立磐井中学校	1	熊谷 琉河	くまがい りゅうが	玉結びの記憶
	【秋田県】大仙市立太田中学校	3	佐々木 佑季音	ささき ゆきね	自分革命
	【宮城県】大崎市立古川北中学校	3	佐々木 護助	ささき ごすけ	未来のわたしへ
	【山形県】東根市立神町中学校	2	櫻井 暢音	さくらい のん	将来「大人」になっている自分へ
【福島県】福島市立平野中学校	1	大野 みゆう	おおの みゆう	心の声を届ける人に私はなりたい	
秀賞	【青森県】青森市立甲田中学校	2	伊藤 千代	いとう ちよ	未来の自分に向けて
	【青森県】青森市立佃中学校	3	福田 椿	ふくだ つばき	10年後の私へ
	【岩手県】盛岡市立渋民中学校	2	右京 桃子	うきょう ももこ	未来の希望に向かって
	【岩手県】奥州市立江刺第一中学校	1	菅野 舞衣	かんの まい	しおど 鹿踊りを世界に広める
	【秋田県】五城目町立五城目第一中学校	2	齊藤 慶紀	さいとう よしのり	つながる思い
	【秋田県】大潟村立大潟中学校	3	大山 心花	おおやま こはる	つらくたっていいんだよ
	【宮城県】大崎市立古川東中学校	3	濱野 拳渡	はまの けんた	自分らしく
	【宮城県】仙台市立八木山中学校	2	棟方 有紀	むなかた ゆき	未来の自分に送るエール
	【山形県】山形市立第十中学校	3	荒井 ひよ	あらい ひよ	憧憬
	【山形県】金山町立金山中学校	2	堀 慧花	ほり けいか	少しずつ前進を
	【福島県】会津若松市立第四中学校	3	高津 朱里	たかつ あかり	夢への大きな第一歩
	【福島県】須賀川市立第二中学校	2	鈴木 優芽	すずき ゆめ	過去の私たち
	【新潟県】新潟市立五十嵐中学校	3	遠藤 心花	えんどう もか	かわいい いもうと
	【新潟県】新潟県立直江津中等教育学校	2	西條 ことは	にしじょう ことは	寄りそう

## 【青森県】

賞	学校名	学年	氏名	ふりがな	題名
佳作	つがる市立森田中学校	3	一戸 心乃	いちのへ ここの	私の夢
	青森市立戸山中学校	3	蝦名 玲乃	えびな れの	大好きな人
	八戸市立江陽中学校	2	工藤 彩葉	くどう あやは	今も未来も私らしく
	藤崎町立明德中学校	2	久保田 唯愛	くぼた ゆあ	祖父と同じ舞台上で
	八戸市立鮫中学校	3	竹駒 結月	たけこま ゆつき	日記
	弘前市立新和中学校	3	對馬 空	つしま そら	りんごと共に
	深浦町立深浦中学校	3	西沢 愛月	にしざわ あいる	私が私に届ける手紙
	青森市立佃中学校	3	島山 礼伽	はたけやま らいか	声を届ける

## 【岩手県】

(No. 2)

賞	学校名	学年	氏名	ふりがな	題名
佳作	久慈市立侍浜中学校	3	浅水 那奈	あさみず なな	新たな一步を踏み出して
	宮古市立宮古西中学校	2	上野 胡羽	うえの このは	胸を張って
	岩手大学教育学部附属中学校	2	大澤 実花子	おおさわ みかこ	祭りで知った盛岡の魅力
	一関市立藤沢中学校	2	熊谷 帆乃佳	くまがい ほのか	将来の決意
	奥州市立江刺第一中学校	1	昆野 司	こんの つかさ	過去から伝える未来の自分への言葉
	宮古市立第一中学校	2	下河原 麗愛	しもかわら りのあ	夢をかなえた私へ
	盛岡市立厨川中学校	3	田中 陽菜	たなか はるな	進路希望調査
	盛岡市立下小路中学校	2	三浦 悠	みうら はるか	10年後の私へ

## 【秋田県】

賞	学校名	学年	氏名	ふりがな	題名
佳作	大仙市立中仙中学校	1	小田嶋 真穂	おだしま まほ	大人になるということ
	美郷町立美郷中学校	3	金子 美桜	かねこ みお	未来の私へ
	美郷町立美郷中学校	3	杉澤 麻衣	すぎさわ まい	独りで関わらないで
	横手市立横手南中学校	3	佐藤 世渚	さとう せな	「テオ」からの贈り物
	大仙市立大曲西中学校	2	高橋 竜生	たかはし りゅうせい	未来の僕に伝えたいこと
	鹿角市立十和田中学校	3	田村 寧音	たむら ねね	つながいのち
	鹿角市立十和田中学校	2	兎澤 蒼士	とざわ そうし	寂しさから得たもの
	能代市立能代東中学校	1	藤澤 らん	ふじさわ らん	気楽に生きていこうじゃないか

## 【宮城県】

賞	学校名	学年	氏名	ふりがな	題名
佳作	栗原市立志波姫中学校	3	伊藤 梨緒	いとう りお	ゆっくり、一歩ずつ
	仙台市立東仙台中学校	1	合瀬 壮介	おうせ そうすけ	スクーバ・ダイビングから
	仙台市立錦ヶ丘中学校	3	熊谷 涼真	くまがい りょうま	私のはまっているもの
	登米市立東和中学校	1	佐藤 碧空	さとう そら	言葉が持つ力
	栗原市立金成小中学校	1	佐藤 陽	さとう ひなた	13歳からのバトンタッチ
	名取市立増田中学校	2	高橋 花音	たかはし かのん	さあ、前を向こう
	仙台市立鶴谷中学校	1	長谷川 結花	はせがわ ゆいか	輝け、未来への自分
	仙台市立仙台青陵中等教育学校	2	堀内 津麦	ほりうち つむぎ	手紙

## 【山形県】

(No. 3)

賞	学校名	学年	氏名	ふりがな	題名
佳作	飯豊町立飯豊中学校	3	井上 優愛	いのうえ ゆりあ	10年後の自分へ
	大石田町立大石田中学校	3	榎本 陽咲	えのもと ひさき	部活を通して気づけたこと
	上山市立北中学校	3	河村 帆夏	かわむら ほのか	5年前と今とその先の私
	山形市立第九中学校	2	笹原 雅	ささはら みやび	大好きな野球
	東根市立第二中学校	2	竹田 朔太郎	たけだ さくたろう	剣道で心身を鍛錬する
	東根市立第一中学校	3	千葉 美優	ちば みゆ	あなたの隣が似合う私に
	戸沢村立戸沢学園	9	中村 栞	なかむら しおり	完璧
	戸沢村立戸沢学園	8	松坂 夏岬	まつざか なつき	最後の中総体を迎えるあなたへ

## 【福島県】

賞	学校名	学年	氏名	ふりがな	題名
佳作	須賀川市立第一中学校	3	管野 大悟	かんの だいご	当たり前
	会津美里町立本郷中学校	2	坂井 花	さかい はな	私が愛する思い出と未来
	福島市立福島第二中学校	3	佐藤 桃香	さとう ももか	未来の自分へ
	磐城緑蔭中学校	2	鈴木 泰耀	すずき たいき	Five years later
	新地町立尚英中学校	1	濱部 匠	はまべ たくみ	未来の自分に伝えたいこと
	郡山市立守山中学校	3	本郷 姫香	ほんごう ひめか	未来の自分に伝えたいこと
	二本松市立二本松第三中学校	2	本田 大翔	ほんだ ひろと	「未来の僕へ」
	相馬市立中村第一中学校	3	真壁 葵	まかべ あおい	将来の夢と、取り組んでいること

## 【新潟県】

賞	学校名	学年	氏名	ふりがな	題名
佳作	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	2	伊藤 恵理子	いとう えりこ	「やればできる」を信じて
	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	2	小野塚 芽生	おのづか めい	いっしょにあるく
	十日町市立中条中学校	2	岡田 奈那子	おかだ ななこ	「迷ったときは立ち止まって…」
	南魚沼市立大和中学校	3	小杉 蓮依	こすぎ れい	未来の私へ
	長岡市立与板中学校	1	小林 萌夏	こばやし もか	練習は自信につながる
	新潟県立村上中等教育学校	3	鈴木 惺那	すずき せな	理解する努力
	新潟県立長岡聾学校	1	藤崎 湊	ふじさき かいり	僕は僕らしく、自分が選んだ環境の中で
	小千谷市立片貝中学校	2	山口 利織	やまぐち りお	吃音症から学んだこと

(添付資料3)

「東北電力 第49回中学生作文コンクール」

審査員名簿

※敬称略、順不同

(No. 1)

【最終審査員】

フリガナ 氏 名	役 職
シブサワ ミチヲ 澁澤 文隆	元信州大学教授 元文部省初等中等教育局教科調査官
ユヅキ ユウコ 柚月 裕子	作 家
アベ タツル 安倍 樹	河北新報社 取締役デジタル戦略室長
イガラシ ヒロユキ 五十嵐 弘幸	東北電力株式会社 ソーシャルコミュニケーション部門長

## 【一次審査員(青森県)】

氏 名	役 職
サトウ マキコ 佐藤 真紀子	弘前市立南中学校国語科教諭
アキモト ヒロノブ 秋元 宏宣	東奥日報社編集局次長文化出版部長
イガラシ ユミコ 五十嵐 優美子	青森県教育庁 学校教育課小中学校指導グループ指導主事
サトウ ハジメ 佐藤 望	東北電力株式会社青森支店副支店長

## 【一次審査員(岩手県)】

氏 名	役 職
サトウ シン 佐藤 晋	岩手日報社 取締役論説・編集・総合メディア担当 兼執行役員編集局長
アカイ ヨウヘイ 赤井 洋平	盛岡教育事務所指導主事
オйкаワ トモコ 及川 智子	盛岡市立見前南中学校国語科教諭
スガノ ユウジ 菅野 祐司	東北電力株式会社岩手支店副支店長

## 【一次審査員(秋田県)】

氏 名	役 職
ムラヤマ キミアキ 村山 公昭	秋田市立築山小学校校長
オオシマ タカオ 大嶋 隆夫	秋田県教育庁 義務教育課主任指導主事兼サブリーダー
アラカワ ヤスカズ 荒川 康一	秋田魁新報社文化部長・論説委員
オガワ ヒデユキ 小川 英之	東北電力株式会社秋田支店副支店長

## 【一次審査員(宮城県)】

氏名	役職
サトウ タカノブ 佐藤 隆信	前宮城教育大学特任教授
ササキ シュウヤ 佐佐木 秀哉	國學院大學 國學院大學北海道短期大学部 入試・広報主幹(東北・新潟担当)
フセ タツヤ 布施 辰哉	仙台市立八木山中学校校長
キムラ カズオ 木村 一郎	東北電力株式会社宮城支店副支店長

## 【一次審査員(山形県)】

氏名	役職
クロキ ヨシエ 黒木 淑恵	山形市立第七中学校国語科教諭
ササキ トオル 佐々木 亨	山形新聞社論説委員
タケダ ヒロシ 武田 裕	山形県教育局 村山教育事務所指導課主任指導主事
カノウ マサアキ 加納 雅明	東北電力株式会社山形支店副支店長

## 【一次審査員(福島県)】

氏名	役職
タカサワ マサオ 高澤 正男	福島市立野田中学校校長
マツヤマ ヒデカズ 松山 秀和	福島県教育庁義務教育課指導主事
ヨシダ マキコ 吉田 牧子	福島市立西信中学校校長
アベ フミハル 阿部 典春	東北電力株式会社福島支店副支店長



【一次審査員(新潟県)】

氏 名	役 職
タナカ アヤコ 田中 綾子	新潟県教育庁 義務教育課指導第1係指導主事
オグロ シゲヒロ 小黒 成寛	新潟県立教育センター 教員研修班指導主事
フジタ ヨシヒデ 藤田 佳秀	新潟日報社編集局報道部文化担当部長
ムネムラ ミツヒサ 宗村 光恒	東北電力株式会社新潟支店副支店長

(添付資料4)

**「東北電力 中学生作文コンクール」  
過去のテーマと応募状況一覧(第1回～第49回)**

(NO. 1)

実施回数(年)	基本テーマ	応募学校数	応募作品数
第1回(1975)	「わたしのまちの未来」	573校	6,273編
第2回(1976)	「わたしたちの役割」	359校	6,830編
第3回(1977)	「わたしたちのふるさとの誇り」	469校	13,582編
第4回(1978)	「わたしたちのまちの未来」 「わたしたちの役割」 「わたしたちのまちの誇り」	446校	17,888編
第5回(1979)	「わたしたちのくらしの移りかわり」 「わたしたちの役割」 「わたしたちの父親像」 「わたしたちの母親像」	520校	20,912編
第6回(1980)	「わたしの誇り」	359校	6,167編
第7回(1981)	「ふるさとの将来を考える」	306校	4,164編
第8回(1982)	「ふるさとの将来とわたしたち」	273校	3,945編
第9回(1983)	「わたしのまちの将来」 「わがまちから学ぶこと」	253校	3,237編
第10回(1984)	「わたしのやりたい仕事」 「わたしが感動したこと」	301校	6,390編
第11回(1985)	「わたしのやりたい仕事」 「わたしが感動したこと」	304校	5,687編
第12回(1986)	「わたしのやりたいこと」 「わたしの体験」	353校	5,265編
第13回(1987)	「わたしの夢」 「わたしの体験」	364校	5,744編
第14回(1988)	「今、わたしの考えていること」 「わたしの体験」	333校	4,916編
第15回(1989)	「今、わたしの考えていること」 「わたしの宝物」	369校	5,424編
第16回(1990)	「21世紀のわたし」 「友達とわたし」	355校	4,096編
第17回(1991)	「出会い」 「今、大切にしたいもの」	438校	5,962編
第18回(1992)	「ふるさとをみつめよう」	430校	7,330編
第19回(1993)	「ふるさとをみつめよう」	507校	15,262編
第20回(1994)	「ふるさとをみつめよう」	530校	15,141編

(NO. 2)

実施回数(年)	基本テーマ	応募学校数	応募作品数
第21回(1995)	「ふるさとをみつめよう」	569校	16,249編
第22回(1996)	「明日への手紙」	449校	14,311編
第23回(1997)	「明日への手紙」	428校	11,135編
第24回(1998)	「明日への手紙」	468校	12,117編
第25回(1999)	「明日への手紙」	476校	15,175編
第26回(2000)	「明日への手紙」	475校	12,940編
第27回(2001)	「21世紀へのメッセージ」	502校	14,804編
第28回(2002)	「未来へのメッセージ」	538校	16,523編
第29回(2003)	「未来へのメッセージ」	517校	14,313編
第30回(2004)	「大切にしたいもの」	613校	21,464編
第31回(2005)	「大切にしたいもの」	629校	23,374編
第32回(2006)	「大切にしたいもの」	671校	23,934編
第33回(2007)	「大切にしたいもの」	668校	26,696編
第34回(2008)	「大切にしたいもの」	646校	27,300編
第35回(2009)	「今、伝えたいこと」	620校	23,116編
第36回(2010)	「今、伝えたいこと」	587校	24,698編
第37回(2011)	「今、伝えたいこと」	552校	22,738編
第38回(2012)	「今、伝えたいこと」	548校	20,901編
第39回(2013)	「今、伝えたいこと」	553校	21,202編
第40回(2014)	「私の挑戦・私の成長」	546校	22,704編
第41回(2015)	「私の挑戦・私の成長」	562校	26,333編
第42回(2016)	「私の挑戦・私の成長」	530校	24,159編
第43回(2017)	「わたしに『ちから』をくれたこと」	530校	17,834編
第44回(2018)	「わたしに『ちから』をくれたこと」	483校	15,656編
第45回(2019)	「私の挑戦・私の成長」	483校	17,568編
第46回(2020)	「私の挑戦・私の成長」	399校	16,903編
第47回(2021)	「未来の自分に伝えたいこと」	432校	12,448編
第48回(2022)	「未来の自分に伝えたいこと」	439校	13,860編
第49回(2023)	「未来の自分に伝えたいこと」	424校	12,540編
<b>総数</b>		<b>23,179校</b>	<b>707,210編</b>